

R9月 モニターレポート		担当出張所	伏見出張所
担当区間	宇治川上流兩岸 隠元橋～天ヶ瀬ダム(47.5～53.2km) (延長5.7km)		
モニター実施日時	令和 元年9 月 10日 午前10 時00 分～12 時00 分 令和 元年9 月 18日 午後01 時00 分～03 時00 分		
天 候	晴れ一時雨		

## (見出し)

- ① 南郷洗堰と宇治川ダム
- ② 8月の雨量と鶺鴒
- ③ 宇治橋鉄橋とカメラマン
- ④ 護岸工事
- ⑤ 宇治橋の茶木
- ⑥ 花火禁止看板



今月は、天ヶ瀬ダムから報告をします。



- ① 8月は、天候が安定し台風10号の河川への影響ややありましたが雨量も少なく穏やかに推移しました。宇治川の源流にある南郷洗堰はダム放水量の調節に、密接に関係しています。また、南郷洗堰は宇治川・淀川水域に大いに関係するところですので行ってみました。
- ② 8月の雨量は落ち着いていると認識していましたが、どういうわけか夏の風物詩である鶺鴒は中止日が多く、観光客を泣かせたようです。今年は、過去最悪を記録しています。存亡の危機に貧しています。



- ③ JR宇治駅と京阪宇治駅の間にかかる鉄橋サイドには、鉄オタが写真撮影に来られています。撮影に熱心のあまり、宇治川への転落事故が無いことを祈るばかりです。宇治川は、ダムに近いこともあって見た目より流れが早い。源氏の時代から宇治川先陣の争いと称して語りつがれています。



- ④ 7月に調査をはじめてから、あちこちで護岸工事が行われていましたが、9月末でほぼ工期を終もとの姿にもどる日も近いです。



- ⑤ 宇治橋の茶木が枯れています。宇治川との因果関係はよくわかりませんが、環境破壊の表れだと考えます。宇治市に住んで30年あまり。かつてない現象です。再生に向け、官民の枠組みを乗り越えて取り組みが必要ですね。



⑥ 花火禁止の立て看板。

宇治市の花火大会が、中止になって久しい。

花火は、危険な遊びですので市民の自粛を望みたい。



編集後記

暑かった夏も終わりを告げています。

本格的な秋の到来。

ゴミの不法投棄、パーベキュー、草の繁殖といった問題もありますが、別の観点から宇治川を  
観察してみました。

(意見・感想・処置等)

モニター、ありがとうございました。

宇治川の鵜飼の実施期間は、7/1～9/30となっていますが、今年は、悪天候による川の流量増などにより、休業日が多かったようです。

淀川では、6/16～10/15が出水期間と定められており、原則として、川の工事は禁止されています。但し、河川管理上或いは施設管理上必要な場合には、治水上の安全を確保した上で、施工することが出来ます。したがって、一般的には、出水期間中には、工事は施工されず、10/16以降に施工されることとなります。今年の塔の島の工事は、例外と言うことになります。

宇治橋は、京都府が管理しており、お茶の木の植栽についても、道路（橋梁）施設であり、京都府の管理となります。

橋梁管理者の京都府に、その旨を伝えます。

花火については、全面的に禁止ではありませんが、①河川利用者が多い、②橋梁等の施設近く、③人家が近くにある、等の場合には、管理上の必要性から禁止していることがあります。

次回も、レポート、よろしくお願い致します。